

「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究」に試料・情報を提供された方

この度、国立精神・神経医療研究センターの「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究（研究代表者：橋本亮太）」に提供されました試料・情報の一部について、下記研究に対し提供を行います。本研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、利用目的等を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

この研究課題に対し試料・情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の試料・情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供して欲しくないことを申し出られても、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2023年4月12日より2031年3月31日までの間に、「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究（研究代表者：橋本亮太：国立精神・神経医療研究センター）」に参加された方

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

所属・氏名：精神疾患病態研究部 橋本亮太

3. 試料情報を提供を行う研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：MRIとAIによるうつ病・双極症の客観的診断・層別化法の実用化に向けた研究

研究期間：2026年3月10日～2031年3月31日まで

研究代表者(研究責任者)：広島大学 大学院医系科学研究科 精神神経医科学 岡田 剛
(共同研究機関)

広島大学 研究責任者 岡田 剛

(共同研究機関以外の試料・情報を取り扱う機関)

株式会社 XNef 責任者 酒井 雄希

国際電気通信基礎技術研究所 責任者 山下宙人

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料:なし

情報等:基本情報(年齢、性別、診断名等)・臨床評価データ・脳画像検査データ(三次元脳構造画および機能的MRIの生データ)

(取得方法)「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究」にて取得したもの

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

研究課題名「MRIとAIによるうつ病・双極症の客観的診断・層別化法の実用化に向けた研究(研究代表者:岡田 剛)」は、MRIと人工知能(AI)技術を用いて、うつ病・双極症の客観的評価法を確立し、適切な治療法選択や、正確な病態把握からの新規治療法創出へとつなげることを目的としています。

研究課題名「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究(研究代表者:橋本亮太)」にて収集したデータを、研究課題名「MRIとAIによるうつ病・双極症の客観的診断・層別化法の実用化に向けた研究」において、提供を受けます。提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。共同研究機関先への試料・情報の授受は記録媒体の郵送等により行います。

6. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名: 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

所属: 精神疾患病態研究部 氏名: 橋本亮太

電話番号: 042-341-2711 (代表)

e-mail: ryotahashimoto55※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)